

デジタル技術について知る・試す・考える DX 推進活動

【内 容】

センターでは、県内中小企業のデジタル技術を活用した新たな研究開発を支援するため、令和元年度より以下のような活動に取り組んでおります。

- ・セミナーやワークショップ等によるデジタル技術の啓発
- ・デジタル技術を活用したシステムの試作・実証等のサポート

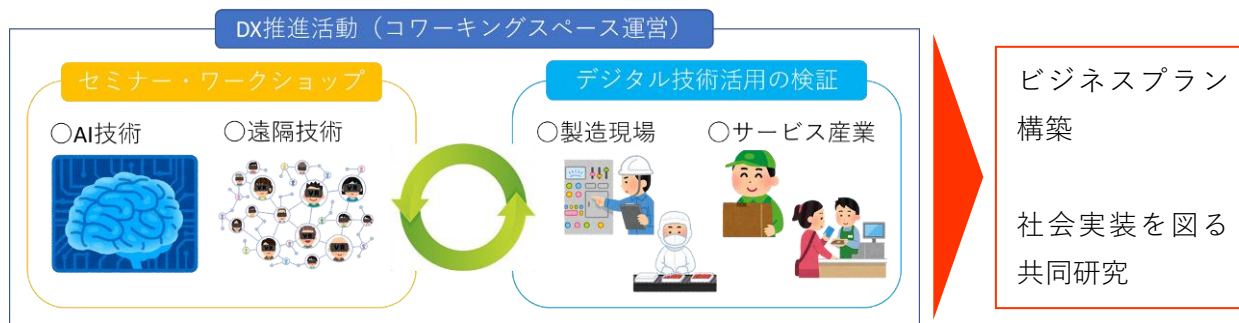


図1 DX推進活動の概要

これらの活動を通して、新ビジネス創出やデジタル技術の社会実装に向けた取組を推進します。

○セミナーやワークショップ等によるデジタル技術の啓発

最新のデジタル技術の動向や、デジタル技術を使ってセンターで試作したデモ等を紹介し、新たな製品やサービスへの活用やニーズに関する企業の皆様との意見交換等を実施いたしました。



図2 生成AI活用
ワークショップの様子

- ・令和6年度実施
生成AI活用ワークショップ（26社33名参加）（図2）
概要：生成AIを活用する際の発想の仕方等について学ぶワークショップを実施
- ・令和5年度実施
デジタル技術活用セミナー（14社17名参加）
概要：最新のデジタル技術を紹介し、ビジネスへの活用に関するニーズ等について意見交換
- ・令和4年度実施
ギャザリングwith DXワークショップ（8社12名参加）
概要：様々なデモを紹介し、ビジネスへの活用先等について意見交換

○デジタル技術を活用したシステムの試作・実証

セミナーやワークショップ等で聴取した企業のニーズや意見を基にセンターでプロトタイプの試作・自主検証に取り組みました。その結果をデモ展示等で企業に紹介し、現場での試用を希望する企業との実証実験等を実施いたしました。



図3 所内設備の見える化

①センターにおけるデジタル技術の自主検証

- ・令和5、6年度実施（図3）
クラウドサービスを活用した遠隔で設備の稼働状況の見える化
- ・令和4年度実施
NTTドコモ茨城支店と連携した5Gを用いたデータ通信評価



図4 スマートグラスを活用した遠隔作業支援実証の様子

②現場作業の支援ツールの試作・実証

- ・令和4年度実施
スマートグラス等XR技術を活用した遠隔作業支援(図4)
参加企業：株式会社関東技研(東海村)
- ・令和4年度実施
プロジェクションマッピング技術を活用した基盤組立作業支援
参加企業：有限会社旭電機製作所(水戸市)

③クラウド技術を活用した小売りサービスの試作・実証

- ・令和2年度実施
クラウドサービスを活用したモバイルオーダー
参加企業：泉町二丁目商店街振興組合(水戸市)
JPC株式会社(那珂市)
- ・令和元年度実施
画像認識技術を活用した接客サポート
参加企業：有限会社内山味噌店(日立市)
株式会社ヒューマンサポートテクノロジー(東海村)

【活動の成果】

＜支援実績＞ デジタル技術を活用した新たなサービス等の検証：4件

本活動をきっかけにして、新たなビジネス創出に向けた研究開発に取り組まれている企業の事例を1件、ご紹介いたします。

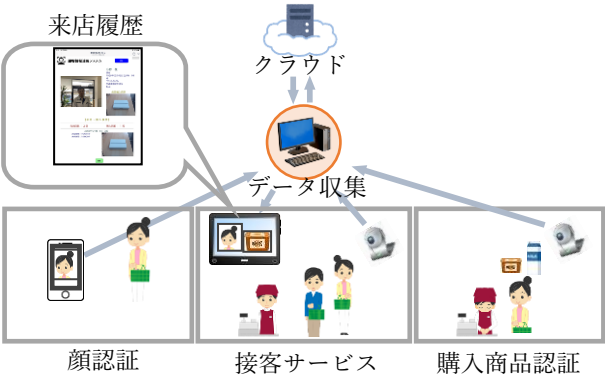


図5 顔認証システム

株式会社ヒューマンサポートテクノロジーは令和元年度に実施した画像認識技術を活用した接客サポートの検証に参加され、過去の来店履歴や購買記録から店員の接客をサポートする顔認証システムを試作されました。(図5)

上記の検証をきっかけに畜産業の家畜管理業務を軽減するサービスを思い付き、そのアイデアをブラッシュアップするため当センターで実施したビジネスプラン構築研修を受講されました。

研修を経て磨き上げられたビジネスプランは、めぶきフィナンシャルグループが主催する第5回めぶきビジネスアワードにおいて特別賞を受賞されました。さらにサービスの要となる牛状態管理システムの研究開発を進めるため、令和4年度に経済産業省の成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)に応募・採択され、現在、実用化に向けた開発をセンターと共に実施しております。(図6)

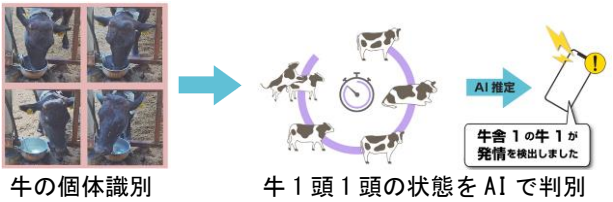


図6 牛状態管理システム

当センターでは、企業のデジタル技術を活用した新たな研究開発の支援するため、最新の技術動向や技術を活用したデモの紹介、企業からのご相談やニーズに対するプロトタイプ試作、実証等を引き続き行っていきます。

基礎となった事業	令和元～3年度 次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業				
	令和4～6年度 新ビジネスチャレンジ事業				
担当グループ	IT・マテリアルG	グループ長	青木 邦知	TEL:029-293-8575	
		技 師	中山 恵介		
		技 師	富田 洋文		
		技 師	関山 燎		
		技 師	中村 勇斗		